

はじめに読んでください No.1

【目標】これからやることを理解しましょう！

①まずは深呼吸

まずは、一度、深呼吸をして落ち着いてください。

②人数が集まるまで待機

ご無事で何よりでした。1人や2人では不安ですよ！
5、6人集まるまで、この指示書を見ながら待ちましょう。

③手順書の確認

この手順書を声に出して読む人（リーダー）を決めてください。また、その人を手助けする人（サブリーダー）もひとり決めてください。

④安心してください

これは、避難所開設キットと呼ぶ手順書です。この通りにおこなえば、うまくいきますので安心してください。

⑤指示する人は動かない

この手順書を読む人（リーダー）と手助けする人（サブリーダー）は、指示をするだけでここから動かず、また、指示を受けた人は、必ず実施後に報告してください。

はじめに読んでください No.1

【目標】これからやることを理解しましょう！

⑥ 火災の確認

火災が近づいているかもしれません。焦げた臭いや煙を確認した時は、避難所の中を含め、周辺も確認してください。火災が迫ってきている場合は、風向きに注意しながら広いスペースのある教育の森公園などの緊急避難場所に逃げましょう！

⑦ 進捗状況の確認

読む人（リーダー）と手助けする人（サブリーダー）は、すべての行動をケース内にある「全体行動確認表」でチェックしてください。

⑧ 手順書は回収ケースへ

手順書は実行後に、キットの中の回収ケースに入れてください。

全体行動確認表

全体行動確認表（はじめにやること編）

- | | |
|--|--|
| <p>No.1 はじめに読んでください
□（全部読み終わったらチェック）</p> <p>No.2 備品をとりに行く
準備ができたらチェック
□ 黒ボックス
□ 白ボックス
□ ヘルメット 15個以上</p> <p>No.3 災害対策本部（区役所）への連絡
□ 区災害対策本部メール送信済み
（送信時間 : ）</p> <p>No.4 掲示物の張り出し
□ 「避難者待機」の掲示
□ 「避難者への協力」の掲示
□ 「帰宅困難者への周知」の掲示</p> <p>No.5 受水槽の確認
□ 亀裂、破損の被害はありませんか
□ 給水ノリブは閉めましたか
□ 排水ノリブは閉めましたか</p> <p>No.6 避難者の誘導・待機
□ 案内表示等は貼れましたか
□ 誘導、待機はできましたか</p> <p>No.7 施設内のライフラインの確認
可・不可 カスの確認
可・不可 水道の確認
可・不可 電気の確認（廊下）
可・不可 電気の確認（教室9）
可・不可 電気の確認（体育館）
可・不可 電話・ファックスの確認
可・不可 インターネットの確認</p> | <p>No.8 施設内の安全点検
□（全部読み終わったらチェック）
点検後の結果用紙を受け取ってください。</p> <p>No.9 災害対策本部（区役所）への連絡
区職員は、到着していますか？
□いる □いない
職員室にある防災行政無線により区災害対策本部に「避難所開設の可否」をメールで送信します。</p> <p>No.10 施設内のトイレの使用可否確認
□ 洋式トイレへのトイレ袋を全トイレセットしましたか？
□ 和式トイレには簡易トイレをセットしましたか？
□ 密閉型トイレを表示しましたか？
□ 感染症用トイレを表示しましたか？</p> <p>No.11 土足禁止スペースの特定
□ 「土足厳禁」の表示を体育館の入口に貼りましたか？
□ 「履物はこちで脱いでください」の表示を体育館の入口に貼りましたか？
□ 避難者が入ってきたときの監視役を2人決めましたか。</p> <p>No.12 本部及び班編成
□ 班編成は、均等の人数で分けられましたか？
□ 各班の班長は決まりましたか？
□ 班長にゼッケンと各班のキットケースを渡しましたか。
□ 本部室はどこになったか伝えてください。</p> |
|--|--|

手順書回収ケース



備品を取りに行く

【目標】 運ぶ際は腰、足元に注意！

備蓄倉庫から「黒ボックス」「青ボックス」「ゼッケン」「ヘルメット」を取り出し玄関付近の安全な場所に運んでください。
必要な人数は、3、4人。できれば5人をお願いして運んでください。

この手順書を渡してください。
裏面でチェックしてください。

黒ボックスの写真



青ボックスの写真



ゼッケンの写真



ヘルメットの写真



備品を取りに行く

【目標】 運ぶ際は腰、足元に注意！

写真

備蓄倉庫への行き方
備蓄倉庫の入口

備蓄倉庫内の図面

実行したらをしてください。

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 黒ボックス | <input type="checkbox"/> 青ボックス |
| <input type="checkbox"/> ゼツケン | <input type="checkbox"/> ヘルメット 10個以上 |

※指示した人に報告して回収ケースに戻してください。

災害対策本部(区役所)への連絡 No.3

【目標】 区職員がおこないます！

区職員は、到着していますか？


いる

職員室にある防災行政無線により区災害対策本部に「区職員到着」のメールを送信します。

いない

到着したら実施させてください。

この手順書を渡してください。
裏面でチェックしてください。



防災行政無線機

写真

無線機の設置場所
無線機の外観

チェック表

防災行政無線操作方法

メール送信要領

- ① 伝言ボタンを押す。
- ② 画面切り替えボタン▽を押し、『送信伝言編集』にカーソルを合わせ採用ボタンを押す。
- ③ 「定型文送信」にカーソルが合っていることを確認し、採用ボタンを押す。
- ④ テンキーボタン「5」「1」の順に押し、「51 職員は参集している」を表示させ採用ボタンを押す。
- ⑤ 「宛先」と画面に表示されたら、テンキーボタン「0」「9」「9」の順に押し採用ボタンを押す。
- ⑥ 「職員は参集している」というメールが災害対策本部に送信されました。



送信できたら☑をしてください

区災害対策本部メール送信済み
(送信時間 :)

指示した人に報告し、回収ケースに戻してください。

掲示物の貼り出し

【目標】 はがれないように貼りましょう！

下記の掲示物を指定する場所に粘着テープを使って貼ってください。

正門側の玄関入口

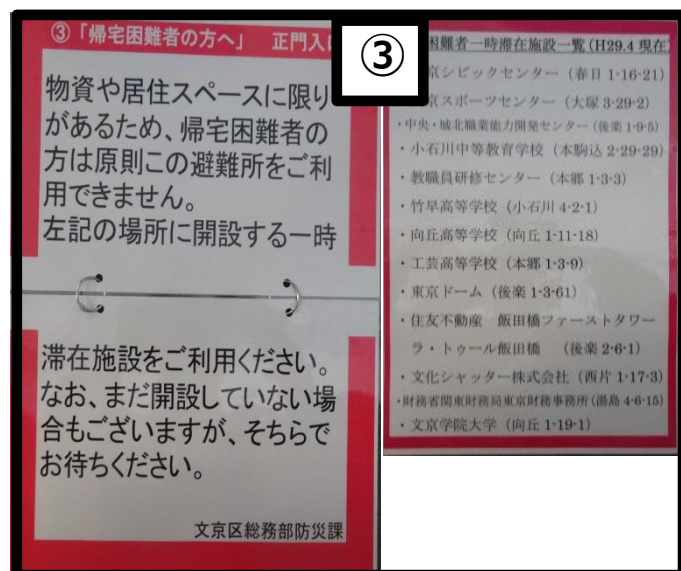
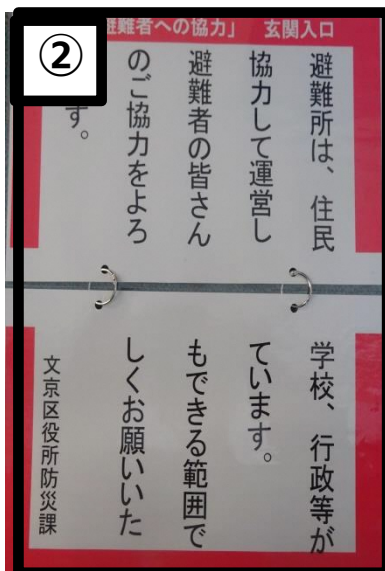
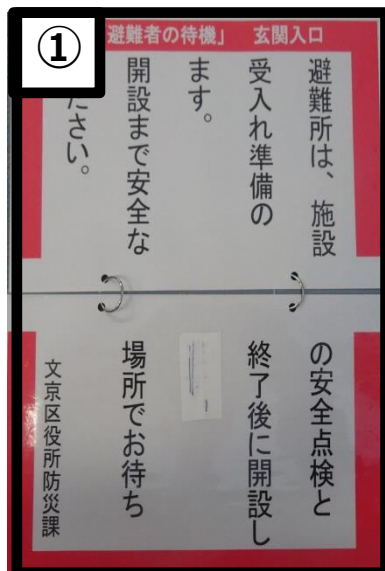
- ① 「避難者の待機」
- ② 「避難者への協力」

正門の入口

- ③ 「帰宅困難者（長距離歩いて帰宅）への周知」と施設一覧表

※裏の写真を参考に！

掲示物



- ③ 避難者一時滞在施設一覧 (H29.4 現在)
- ・京シビックセンター (春日 1-16-21)
 - ・京スポーツセンター (大塚 3-29-2)
 - ・中央・城北職業能力開発センター (後楽 1-9-5)
 - ・小石川中等教育学校 (本駒込 2-29-29)
 - ・教職員研修センター (本郷 1-3-3)
 - ・竹早高等学校 (小石川 4-2-1)
 - ・向丘高等学校 (向丘 1-11-18)
 - ・工芸高等学校 (本郷 1-3-9)
 - ・東京ドーム (後楽 1-3-61)
 - ・住友不動産 飯田橋ファーストタワー (後楽 2-6-1)
 - ・文化シャッター株式会社 (西片 1-17-3)
 - ・財務省関東財務局東京財務事務所 (湯島 4-6-15)
 - ・文京学院大学 (向丘 1-19-1)

掲示物の貼り出し

チェック表

写真

掲示物の貼る場所
貼り方の見本

正門に③の掲示物（帰宅困難者への周知・施設一覧）を、
正門側の玄関は①②（避難者への周知・呼びかけ）を貼る。

※裏門は開けずに正門からはいるように声掛けをします。

※帰宅困難者は、帰宅困難者受入れ施設を案内します。

準備ができたならをしてください

- 「避難者の待機」の掲示
- 「避難者への協力」の掲示
- 「帰宅困難者への周知」の掲示

受水槽の確認

【目標】大切な水を守りましょう！

避難者の水は受水槽を使います。
にごり水が入らないように給水バルブ
と揚水バルブを止めます。
必要な人数は2人です。
この手順書を渡してください。

写真、図面

受水槽の場所、行き方

受水槽の確認

【目標】大切な水を守りましょう！

写真

受水槽の外観
操作方法

確認・実行ができたら☑をしてください

- 亀裂、破損の被害はありませんか
- 給水バルブを閉めましたか
- 揚水バルブを閉めましたか

※異常があった場合は、戻って報告しましょう。

指示した人に報告して、回収ケースに戻してください。

【目標】 みんなで冷静になりましょう！

避難者の待機場所は、グラウンドになります。

正門や裏門にグラウンドまでのコースとして  誘導する表示を貼ってください。

必要な人数は3～5人。避難者をグラウンドに誘導し待機させてください！

手順書を渡してください。
詳しくは裏面を！

【目標】 みんなで冷静になりましょう！

チェック表

注意事項

- ① 町会、自治会ごとで待っていただきます。
- ② 車の乗り入れは禁止です。
- ③ ペットは飼育場所が決まるまでは施設内に入れないようにしてください。盲導犬、介助犬はすぐに入れてください。
- ④ 避難者の中から協力してくれる方を見つけながら呼びかけましょう。
- ⑤ 呼びかけは、受付を開始するまで随時おこなってください。

呼びかけ例

「慌てないで、走らずにグラウンドに移動してください。」
「施設内の安全が確認できるまで、グラウンドでお待ちください。」
「概ね、1時間ぐらい町会、自治会ごとで待っていてください。」
「私たちも被災者です！ 私達と一緒に手伝える人はいませんか？」

行動ができたらをしてください

案内表示⇒は貼れましたか

冷静に誘導、待機はできましたか

指示をした人に報告して、回収ケースに戻してください。

【目標】 みんなで冷静になりましょう！

避難者への呼びかけ例！

- 「あわてないで、走らずにグラウンドに移動してください。」
- 「施設内の安全が確認できるまで、グラウンドでお待ちください。」
- 「概ね、1時間ぐらい町会、自治会ごとでかたまって待っていてください。」
- 「私たちも被災者です！私達と一緒に手伝える人はいませんか？」

施設内のライフラインの確認 No.7

【目標】 五感を働かせて！

施設内のガス、電気、水道の状況を確認してください。

教職員がいれば電話、ファックス、インターネットの使用状況も確認してください。

必要な人数は2人。2人で裏面のチェック表で確認してきてください！

この手順書を渡してください。

施設内のライフラインの確認 No.7

【目標】五感を働かせて！

チェック表

注意事項・確認要領

- ① ガスは、主事室や給湯室にあるガスコンロで一カ所確認してください。
- ② 水道は、施設内の蛇口を開き水がでるかを一カ所確認してください。
- ③ 電気は、廊下（一カ所）、教室（一カ所）、体育館のそれぞれの場所で確認してください。
- ④ 通信機器の確認は、施設関係者ととともに確認してください。今いない場合は、あとで必ず確認してください。

どちらかに○をしてください。

可・不可	ガスの確認	(止まっていることの確認)	
可・不可	水道の確認		
可・不可	電気の確認	(廊下)	
可・不可	電気の確認	(教室)	
可・不可	電気の確認	(体育館)	
可・不可	電話の確認		} 教職員が いる場合
可・不可	ファックスの確認		
可・不可	インターネットの確認		
可・不可			

施設内の安全点検

【目標】 判断は自信をもって！

- ①教職員がいないときは、みなさんが施設の安全確認をおこないます。
- ②2人で1班を編成し、できれば3班以上で実施します。
- ③ヘルメットと軍手を着けて、**黒ボックス**から「**立ち入り禁止テープ**」、「**はさみ**」、「**養生テープ**」を、キットケースからは、「**安全確認チェック表**」を取り出し確認に行きます。
- ④ガラスの破片や落下物に気を付けてください。
- ⑤危険な場所は「立ち入り禁止テープ」を貼ってください。
- ⑥班ごとに場所を決めて実施してください。
例 1班：校舎の外から見る点検
2班：体育館、校舎1階
3班：校舎2階、3階



施設の安全点検実施要領

施設内の安全点検

【目標】判断は自信をもって！

避難所開設前の安全点検チェック表

避難所開設前の安全確認チェック表

確認日時： _____

確認者： _____

校舎の外から見るチェック表（第1班）

次の質問の該当するところに○をつけてください。

質問1 **建物周辺**に地滑り、がけくずれ、地割れ、液状化、地盤沈下はありますか？
A. いいえ B. 生じた C. ひどく生じた

質問2 **建物が沈下**しましたか？
A. いいえ B. 沈下しているように見える C. 明らかに沈下している

質問3 **建物が傾斜**しましたか？
A. いいえ B. かすかに傾斜している C. 明らかに傾斜している

質問4 **校舎の壁**は壊れましたか？
A. いいえ B. 大きなヒビがある C. 壁が崩れている

質問5 **柱・梁**が壊れましたか？
A. いいえ B. 崩れが生じている C. 鉄筋の曲がり、折れがある

質問6 **電線が切断**されていますか？
A. いいえ B. 切断されている・電気施設の使用不可

質問7 **ガスの元栓が損傷**していますか？
A. いいえ B. 損傷している・ガス使用不可 C. 損傷している・ガスが漏れている

質問8 **水道が損傷**していますか？
A. いいえ B. 損傷している・水道の使用不可

質問9 その他気付いた被害を記入してください。

避難所開設前の安全確認チェック表

確認日時： _____

確認者： _____

教室・体育館などのチェック表（第2班）

次の質問の該当するところに○をつけてください。

点検箇所 (階・部屋名)	使用可否	柱の亀裂	天井の破損	照明器具の破損	ガラスの破損	その他、気付いたこと
階	可・不可	有・無	有・無	有・無	有・無	
階	可・不可	有・無	有・無	有・無	有・無	
階	可・不可	有・無	有・無	有・無	有・無	
階	可・不可	有・無	有・無	有・無	有・無	
階	可・不可	有・無	有・無	有・無	有・無	
階	可・不可	有・無	有・無	有・無	有・無	

※危険箇所には、立ち入り禁止テープによる表示をしてください。

確認した内容は、リーダーに必ず報告してください。



校舎の外から見るチェック表



体育館・室内のチェック表

災害対策本部（区役所）への連絡 No.9

【目標】区職員がおこないます！

区職員は、施設の安全点検が終了しましたら、職員室にある防災行政無線により区災害対策本部に「安全点検結果」を災害対策本部（区）にメール送信します。

「78 避難所は開設できる状態」
「79 避難所は開設できない状態」

区職員に渡してください！

安全点検表

避難所開設前の安全確認チェック表

確認日時： _____
確認者： _____

校舎の外から見るチェック表（第1班）

次の質問の該当するところに○をつけてください。	
質問1	建物周辺に地滑り、がけくずれ、地割れ、液状化、地盤沈下はありますか？ A. いいえ B. 生じた C. ひどく生じた
質問2	建物が沈下しましたか？ A. いいえ B. 沈下しているように見える C. 明らかに沈下している
質問3	建物が傾斜しましたか？ A. いいえ B. かすかに傾斜している C. 明らかに傾斜している
質問4	校舎の壁は壊れましたか？ A. いいえ B. 大きなヒビがある C. 壁が崩れている
質問5	柱・梁が壊れましたか？ A. いいえ B. 崩れが生じている C. 鉄筋の曲がり、折れがある
質問6	電線が切断されていますか？ A. いいえ B. 切断されている・電気施設の使用不可
質問7	ガスの元栓が損傷していますか？ A. いいえ B. 損傷している・ガス使用不可 C. 損傷している・ガスが漏れている
質問8	水道が損傷していますか？ A. いいえ B. 損傷している・水道の使用不可
質問9	その他気付いた被害を記入してください。

避難所開設前の安全確認チェック表

確認日時： _____
確認者： _____

教室・体育館などのチェック表（第2班）

次の質問の該当するところに○をつけてください。						
点検箇所 (階・部屋名)	使用可否	柱の亀裂	天井の破損	照明器具の破損	ガラスの破損	その他、気付いたこと
階	可・不可	有・無	有・無	有・無	有・無	
階	可・不可	有・無	有・無	有・無	有・無	
階	可・不可	有・無	有・無	有・無	有・無	
階	可・不可	有・無	有・無	有・無	有・無	
階	可・不可	有・無	有・無	有・無	有・無	
階	可・不可	有・無	有・無	有・無	有・無	

※危険箇所には、立ち入り禁止テープによる表示をしてください。

確認した内容は、リーダーに必ず報告してください。

チェック表

防災行政無線操作方法

メール送信要領

- ① 伝言ボタンを押す。
- ② 画面切り替えボタン▽を押し、『送信伝言編集』にカーソルを合わせ採用ボタンを押す。
- ③ 「定型文送信」にカーソルが合っていることを確認し、採用ボタンを押す。
- ④ テンキーボタンを「7」「8」又は、「7」「9」を表示させ採用ボタンを押す。
「78 避難所は開設できる状態」
「79 避難所は開設できない状態」
- ⑤ 「宛先」と画面に表示されたら、テンキーボタン「0」「9」「9」の順に押し採用ボタンを押す。
- ⑥ 「避難所は開設できる状態またはできない状態」というメールが災対本部に送信されました。



送信できたら☑をしてください

- 避難所開設可能メール送信
- 避難所開設不能メール送信

(開設不能の場合は、すぐに移動可能な避難所を災対本部から聞き避難者に周知し、移動してください。)

(:) メール送信時間

施設内のトイレの使用準備確認 No.10

【目標】 被災者の受け入れ前に行いましょう。

施設内のトイレ（洋式・和式）に応じてトイレの準備をしてください。

洋式⇒トイレ袋 和式⇒簡易トイレ

また、要配慮者用トイレと感染症用トイレの場所も決めてください。

すべてのトイレの準備は大変です。
5人以上でおこなってください。

この手順書を渡して、
裏面でチェックしていただきますよう

洋式トイレの写真



和式トイレの写真



チェック表**備蓄倉庫内の図面****注意事項・確認要領**

- ① 洋式トイレと和式トイレの準備は、別の資料を見てください。
- ② 多目的トイレは要配慮者（車いす使用者等）用です。1階のトイレを指定し表示を掲示してください。
- ③ 感染症用トイレは、一般のトイレから離れた位置を指定しましょう。

実行ができたなら☑をしてください

- 洋式用へのトイレ袋を全トイレセットしましたか？
- 和式用の簡易トイレを和式トイレのある場所全てにセットしましたか？
- 多目的トイレを表示しましたか？
- 感染症用トイレを表示しましたか？

指示した人に報告し、回収ケースに戻してください。

【目標】土足禁止を徹底しましょう！

居住スペースとなる体育館に土足厳禁の掲示をしてください。必要な人数は2人です。

この手順書を渡して、
裏面でチェックしていただきますよう

履物はこちらで
脱いでください。

写真

掲示物の貼る場所
貼り方の見本

土足厳禁

体育館入口に掲示物を貼った状況

土足禁止スペースの特定 チェック表

No.11

注意事項

- ① 居住スペースである体育館は、衛生管理を徹底するためにすべて土足禁止としてください。
- ② 「土足厳禁」、「履物はこちらで脱いでください」の掲示をしてください。
- ③ 避難者が入ってきたら、出入り口には監視役をつけてください。
- ④ 靴の管理は自分でおこなうように連絡してください。

実行ができたなら☑をしてください

- 「土足厳禁」の表示を体育館の入口に貼りましたか？
- 「履物はこちらで脱いでください」の表示を体育館の入口に貼りましたか？
- 避難者が入ってきたときは2人で監視役をお願いします。

【目標】本部班を中心に連携しましょう！

①一度、全員集めて人数を確認してください。

②20人以上の場合

班分けをします。

1. まず、本部班を決めます。本部班は、区職員（チーフ）、学校教職員、協議会副会長以上、PTA、民生委員、防災士等です。
2. 本部班以外の方で「総務情報班」「避難者援護班」「給食物資班」「救護衛生班」の任務にスタッフを均等に分け、その中から班長をきめてください。
3. 各班の班長はそれぞれのゼッケンとケースを受け取り手順書に従い行動を開始してください。

③20人未満の場合

「継続ケース20人未満（別のキットケース）」を開けて行動してください。